

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たいい」のあふれる時津小



令和5年4月20日（木） 発行人：校長 森内 秀学

1年生の学校生活 本格開始



～給食編～

今週から、1年生の学校生活が本格的に始まりました。中でも、給食は1年生にとって難しい挑戦です。

例えば……

① 30人近い食器や食材を友達と協力して運ぶ。

② おかずを、お玉やトングで均等につぎ分ける。

③ 大きな給食着を、小さな机の上でたたむ。

④ つぎ分けられた食べ物をお盆に乗せ、席まで運ぶ。

⑤ つぎ分けられたものを、時間内に食べ終わる。



どれも、1年生にとっては初めての経験でしょう。苦手な食べ物や、家庭では見たことがないメニューもあるに違いありません。1日1日が、1年生にとって大きな挑戦です。

また、「食缶に入ったスープを30人で均等につぎ分けるには、1人どれくらいずつよそえばよいか」などという生活経験は、まさに算数で大切にすべき「量感」にかかわるところです。考える力は経験で育ち、経験によって考える力も育ちます。今後が楽しみです。



～昼休み編～

給食後の昼休みは、1年生にとっても楽しい時間です。ご覧のように、お兄さんお姉さんに見守られながら、楽しそうに遊んでいます。今は、その場で見つけた6年生と遊んでいる子どもが多いですが、今後はパートナーを決めて定期的に遊ぶ計画も立てると聞いています。ますます昼休みが楽しみになりますね。

未来の1年生も支える（託児ボランティア）

昨日、今日、明日は、授業参観です。非常に多くの保護者の方が参観に来られています。教育への関心の高さに、身の引き締まる思いです。この、保護者の参観への意欲を支えてくださっているのが、託児ボランティアの方々です。昨日は来年1年生になるお子さんもお世話してくださっていました。学校を身近に感じられた子どもたちは、安心して入学できますね。

